

(11月末日現在)登録団体数	200団体
会議室利用件数(延べ)	1477件
利用人数(延べ)	18869名

HUG²(はぐはぐ)祭り開催しました！

第12号の内容

【第1面】

◆HUG²(はぐはぐ)祭り

【第2面】

◆講座の報告

- ・広報力・発信力
向上セミナー講座
- ◆万里一空

【第3面】

◆クローズアップ

団体紹介とこの人
(株)WFC代表
栗本恭子氏

【第4面】

◆団体さんこんにちは！

◀レクリエーション

ボランティア▶

①奈良交通

お笑い演芸同好会

②四ツ葉会

【第5面】

◆地域ではぐくむ

子どもたち

◀柳生中学校区

地域教育協議会▶

【第6面】

◆お知らせ！

情報コーナー

- ・ボランティア入門講座
- ・市民公益活動入門講座
- ・共同作業コーナー
ご案内
- ・ボランティア活動先一覧
- ・おすすめ本
- ・連絡先・地図
- ・編集後記



NPO法人アゴラ音楽クラブのメンバー

11月16日(日)午前10時から午後4時までボランティアインフォメーションセンターに於いて当センター主催の「HUG²(はぐはぐ)祭り」を開催しました。

この祭りは、5月から当センター登録団体に対してサポーター団体を募集し、応募していただいた7団体と一緒に6月から毎月1回サポーターズ会議を重ね、各参加者からの様々なご意見をとりいれ開催しました。

また「HUG²祭り」のネーミングは、当センターが、「はぐくみセンター」内にあること、当センターが年4回発行している機関紙の名称が「HUG(はぐ)」ということから名付けました。

今回の祭りは、参加26団体による出展ブースにおいて物販も可能とした点が大きな特色です。

他に、ブースでの各団体の活動紹介やアピールとは別に、ステージコーナーを設け、歌やダンスなど6団体に出演をしていただきました。

ステージでの10時のオープニングでは、奈良市の子育ておうえんサイト「子育て@なら」の「ももいろいろジャーカ」一家のキャラクター「パパジャーカ」が登場し観客に紹介されました。そして最初のプログラム、NPO法人アゴラ音楽クラブによる和太鼓の演奏が行われ、太鼓の活気あふれる音で会場全体が盛り上がった雰囲気の中で祭りがスタートしました。

東西の出入口での来場者数(10~16時)は約600名。商品の販売ブースでは、一部商品が完売するなど屋内でのイベントとしては大変賑わったお祭りだったと感じたのは主催者のひいき目によるものでしょうか。

他にキッズコーナーでは、一般社団法人ガールスカウト奈良県連盟の協力を得て、子どもたちに桜の木の枝や、まつぼっくりを素材にしたクラフト作りを体験していただきました。

またNPO法人奈良シニアIT振興会の協力を得て「パソコン何でも相談」コーナーも設け、日頃パソコンの操作に悩んでおられる方々の相談に対応していただきま



ガールスカウトによる
キッズコーナー



奈良シニアIT振興会による
パソコン相談会

参考に参加団体によるアンケートのご意見をいくつか紹介させていただきます。

- ・多くの団体が参加されていたのはよかった。
- ・他団体と交流ができてよかった。
- ・ステージが終わると帰られる方が多く、15時以降は寂しい。時間を切りあげても良かったかな
- ・いろんな団体の方とお話ができた。
- ・椅子が少ない。ステージのボリュームが大き過ぎる。
- ・活動紹介、体験できるスペースがもっとあるとよかったです。



にぎわう出展ブース



子どもたちに
大人気の
パパジャーカ



会場を盛り上げたキッズチアピーチーズ

第3回市民公益活動入門講座 「広報力・発信力 向上セミナー」を開催しました！！

11月26日(水)と12月10日(水)の2日間にわたって、今年度の第3回目の市民公益活動入門講座『広報力・発信力向上セミナー～デジタルカメラを使って動画配信！～』を開催しました。

今回の講座は約10名の方々にご参加いただき、映像を利用した様々なプロモーション活動を行っている田中基貴氏を講師にお迎えして、魅力的な動画(映像)を撮影・発信するために必要なノウハウやコツを学びました。



講師の株式会社エーゲル田中基貴氏



講義の様子

◆11/26(水)【撮影編】レポート

①動画(映像)の特性について

動画の「種類や特徴」「他媒体(新聞、雑誌、ラジオ等)と比較しての、広報・宣伝ツールとしてのメリットやデメリット」などを学びました。

②動画撮影時の注意点やコツ

撮影に関することはもちろん、作品の「テーマ・イメージ・予算・スケジュール」など、撮影前の企画や準備段階から重要となるポイントや注意点も学びました。

③撮影技術の基礎知識

動画撮影時の、画面サイズ(フレーム)の重要性、照明や太陽光の特性、音声収録(録音)の種類や注意点など、すぐに実践可能な撮影技術のコツや注意点を学びました。

④撮影実習

実際にデジタルカメラを使用して、講師の設定した「目の前にある自分の文房具を1分間の動画でPRする」というテーマで、全員に動画作品を制作していただきました。



⑤作品上映・講評

参加者の皆さんが撮影された動画をプロジェクターで上映して全員で鑑賞し、各作品に対する講師の丁寧な講評を聞いて、それぞれが自分の作品の長所や短所を把握することができました。

◆12/10(水)【活用編】レポート

①動画編集の作業手順やコツについて

簡易動画編集ソフトを講師が実際に使用して、「映像を取り込む」→「順番に並べる・余計な部分を削る」→「エフェクト(特殊効果)や文字テロップを使用する」といった編集のままかな流れを学びました。

②動画投稿サイトへの登録(アカウント作成)方法

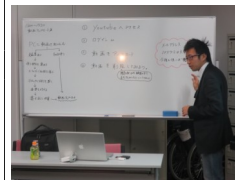
撮影した動画を投稿サイトへアップロードするため、まずは名前やメールアドレス等の情報を登録してアカウント(ID・パスワード)を作成する手順を学びます。

③動画データを投稿サイトへアップロードする方法

アカウントを作成後、いよいよ動画を投稿サイトへアップロードします。前回の講座終了後に各自が撮影してきた1分間の動画を実際にアップロードして公開し、これで、世界中の人々が見ることが出来るようになりました。

④上映会

投稿サイトで一般公開された参加者の動画をインターネットで実際にアクセスして再生し、みんなで鑑賞しながら講師の講評を受けました。また、音楽使用に関する著作権の考え方や、個人情報やプライバシーに配慮した動画制作の心得なども学びました。



万里一空 第10回

新米職員のボランティア体験記!

奈良市協働推進課

南 徹 職員

平成26年9月19日、私は広島に赴き、災害ボランティアに参加しました。8月20日に発生した豪雨に伴う土砂災害からの復旧作業です。

広島駅に到着してみると、被害がほとんどなく、拍子抜けしたことを覚えていきます。しかし、安佐北区に入った途端、景色は一変しました。倒壊した家々、山のように積み重ねられた車。建物に付着している泥の跡は私の身長よりも高い位置まであり、被害の大きさを物語っていました。

私は家屋内に入り込んだ泥の除去作業を行いました。家は隅々まで泥だらけで、軒下に潜り込んで泥を掻き出そうとしますが、慣れない作業でなかなか進みません。また、泥はカチカチに固まっていて、削り取るのにも骨が折れます。舞い上がる埃の量に咳き込む人もいました。汗と泥にまみれながらの作業は5時間ほど続きました。

作業終了後、家主さんが、「ありがとございませした。お陰様で心置きなく新生活を送ることができまます」と笑顔でおっしゃった時、つらい作業でしたが、広島に来て本当によかったと思えました。帰りのバスでは疲労感と安堵感で眠りについてしまったことを覚えています。

実際にボランティアに参加することで、テレビでは感じる事ができない埃っぽさや泥臭さを生で感じ、災害の無慈悲さを改めて思い知りました。私が参加させていだいたのはほんの一日でしたが、それでも復旧の一助になったのなら広島に行った価値があったのではないかと思います。





今年10月に政府の「すべての女性が輝く社会づくり推進室」が設置されました。社会的にも女性が暮らしやすい環境整備が進められる中、今回は、Women's Future Center(以下WFC)を今年の6月より立ち上げられた栗本恭子代表にインタビュー。

子育て支援ボランティアを10年された経験をもとに、民間の女性起業支援、子育て女性支援の活動をされている様子をお聞きました。

子育て支援のボランティアに10年携わる中で

「なら子育てネットワーク」の代表もされていたそうですね

栗本:平成16年8月子育て支援の「サークル交流会」を立ち上げた後、平成18年から、「なら子育てネットワーク」となり平成25年まで代表をさせて頂きました。



「これまでたくさんのお母さんたちと出会って感じられたことは…」

栗本:「何もできない」とおっしゃる方が、色々なことをやってみると、知識・技能・スキルなど豊かな方が多いのに、逆に子育ての世界の中で、それらを生かしきれないしんどさを持っておられました。それで、子どもとの関係まで悪くなってしまうこともあります。悩んでいるお母さんが、「自分の可能性を信じていきたい」と

おっしゃることに対し彼女たちを支援していくのが自分の使命だと思っています。何もない人はいない…いろんな宝を持っていて、それに気づいてもっと素敵に自分らしく輝いてほしいと思います。



子ども連れで講座を聞けるとお母さんたちに喜ばれています

お母さんが自分に自信を持ち、気持ち充実したらどんな環境でも子どもは素直に育っていく「ママたちが集まって励ましあい、スキルアップし、それを応援しあえるような場所が必要だ」と強く感じるようになりました。

WFCのたちあげ

「そして、今年6月、いよいよWFC立ち上げとなられたんですね

栗本:仕事しながら、自分自身のライフワークとしてボランティアで10年やって来た中で、できたネットワークと、片方で自分のWebデザインという仕事を起業したい人達に生かせるのではないかと思ったんです。

女性が集える場所がほしいと漠然と思っていたので、Future Center(以下FC)を作るというところに行き着きました。

「FCという言葉が今回初めてお聞きまして…」

栗本:FCというのは、いろんな社会的課題や問題を真ん中において、対話によって次の未来に向かって、プロジェクトを作ったり、次にもっとよくするためにはどうしたらよいのかというのを前向きに考えるきっかけを作る場のことなんです。また、実際体験もしました。場所は喫茶店でもどこでもよく気軽に話し合えます。参加者は一般の方から行政、企業担当者など、課題に関心のある方が参加します。ですので、課題に対し、いろんな方の意見をお聞きすることができます。名称は、女性の未来を真ん中において考える場所として、WFCとしました。



10人から多いときは30人くらいで話し合いをされます。

プロフィール 東京生まれ静岡岡ち 夫と2男1女の5人家族。奈良には高校卒業後18歳のとき静岡岡から引越して来られました。到着した八木駅からタクシーで自宅近くの榎原公苑を通ったときは、宮崎駿の映画そのもので感動。趣味は水彩画や子どもさんとスケッチ、読書など。好きな作家はジェフリーアーチャー、山崎豊子。他に、ビジネスの本、三国志など一時とてもはまり、子どもの名前は中国文学の主人公からとったくらい好きだそうです。

奈良県にも頑張っている女性がこんなにいる！ ことを知ってほしい

一会員は何人くらいいらっしゃるんでしょうか

栗本:現在、180名の女性が登録しています。

「自分たちの手で仕事をする!」「社会を変える!」といった思いを持った人が集まって頑張っていることとしています。奈良県にもこんな頑張っている女性がいることをもって知ってほしいです。

一会員の中には既に起業されている

先輩もおられるとのことですが、どのようなことを先輩から学ばれたのでしょうか

栗本:人間関係を作る上で、「きちんと目をむけること」でしょうか。

一きちんと目をむけるために工夫をされていることは…

栗本:今は、いい時代で、普段は会ってなくても、ソーシャルネットワーキングサービスがあり、Facebookなど用いてどんなことを考えているか、どんな活動をされているかを理解できません。180人の登録会員と1人1人を大切につなげるいい関係作りを心がけています。

一現在の活動について聞かせてください。

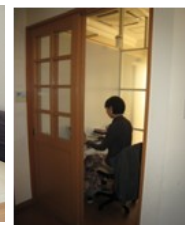
栗本:現在Webデザインの仕事を生かして私自ら講座も開催させて頂いています。そして、子育て支援プロジェクトとして「子育てに関心があり情熱のある方」という参加資格だけで集まった方10人と何をこのWFCでしていくのか、約3カ月話し合いました。



WFCの活動☆大切な対話のひとつ ☆1人ひとりと向き合っ、最初は面接から行きます。(右が栗本代表)



付箋に出た意見を模造紙に貼り、新たな発想から未来構想を。



木のぬくもり溢れる落ち着いた雰囲気講座室(左)

シェアオフィス(右)

今後の活動について

立ち上げから約5ヶ月がたち、WFCで何ができるか、何をしたいか、子育て環境の課題について月1回の話し合いをする中、出てきたのが、「お母さんの気持ちを充実させていくのが大切だ」ということ。そのためには何をすれば良いか話し合った結果「コミュニティカレッジ※」を立ち上げようということになったそうです。その他に①起業志望者への支援②自己実現のしくみ作り③社会とつながる企業とのコラボ事業④モニター事業への参加、なども考えていらっしゃるということです。すべて、自分たちの人脈やスキルを持ち寄ってできるそうで、WFCへの期待と夢は益々広がります。

※ コミュニティカレッジ:日本では社会人大学として認知されています。一般の人が受けられる高等教育や生涯教育の場のこと。誰でもが勉強ができて、好きな科目を受講できます。

お問い合わせ先〒630-8122 奈良県奈良市三条本町3-9アモールビル1階
TEL 0742-26-5166

講座や貸しスペースなど詳しくはホームページをご覧ください。

団体さんこんにちは 今回登場の団体さんは

レクリエーションボランティアの団体さんです！

高齢者向けのレクリエーションでは、気持ちよく体を動かせたり、ストレスの解消になったりと、様々な楽しみ方があります。また、その内容によってはリハビリ効果も期待できるなど、その効能も幅広いものがあります。音楽や体操、言葉遊び、クイズやゲームなど、レクリエーションは種々様々です。高齢者の生活に「笑顔」を増やすことが、レクリエーションの目的です。今回は、レクリエーションボランティアの団体さんに寄稿頂きました。

団体名 奈良交通お笑い演芸同好会
代表者 近田昌良(ちかたまさよし)
住所 〒630-8651奈良市大宮町1丁目1-25
連絡先 0742-20-3114
(奈良交通㈱経営戦略室内)



メンバーの大半はバスの運転手さんです。

伴美家羽寝 (ばんびやはねる)さんの落語



平成10年1月、奈良交通㈱社内のサークルとして活動を開始しました。当時、バスツアーの車内で、歌やお芝居を披露していた「お笑いユニーク車掌」と呼ばれた運転手のグループに、本社勤務のお笑い好きの社員が加わって発足しました。現在のメンバーは16名。このうち6名がコアメンバーとして活動しています。活動エリアは、奈良県内を中心とした奈良交通の路線バスが走っている市町村です。月2回を目標に、沿線の公民館などで開催される敬老行事や、高齢者の福祉施設のレクレーションなどにお邪魔させていただき、1回につき1時間程度の「出前寄席(よせ)」という演芸会を開催させていただく「演芸ボランティア」活動を行っています。

メンバーの大半はバスの運転手ですので、普段の仕事は勤務時間も場所も全員バラバラです。このため日頃はメンバーそれぞれが非番の時間を活用して個人練習を積み、「出前寄席」開催当日に練習の成果を発表します。主な演目は、女装や仮装をして懐メロを歌う「歌謡ショー」、落語、漫才、ギター弾き語りなど。時には主催者の方と一緒にイベント作りのお手伝いをしたり、一緒に出演した他のグループの方と親しくなったりと、楽しみは尽きません。

おかげさまで「出前寄席」の通算開催回数は589回を数えています(平成26年10月現在)。これからも「通算600回」を目標に、沿線にお住まいの地元の皆様の交流に貢献するという志で活動を続けて参ります。



ピストン小林さん(左)とハリス 桐野(とがの)さん(右)の歌謡ショー



トントロズ山田さん(左)と とりあえず中森さん(右)の漫才



トントロズ日原(ひはら)さんの歌謡ショー

団体名 四ツ葉会
代表者 田村邦子 (副)代表 嶋田幸忠
住所 (副) 奈良市富雄元町1丁目24-4
連絡先 (副) 0742-43-8311



メンバー募集しています！音楽好きな方はどうぞ！

四ツ葉会のモットーはお互いの健康維持とコミュニケーションを図る中で感謝を持って奉仕活動(老人施設・障害者施設などに慰問)を行うことを目的としており、その他、年一回チャリティー活動(5年の実績)で募金を善意銀行に寄贈させて頂いております。四ツ葉会には下記の2つのグループで四ツ葉会の活動を補佐しております。

設立8年となり、通算約200回程度の老人施設などで、多彩なジャンルの音楽を生演奏。ナツメロの歌などを聞いて頂く他、フラダンスなど約1時間の慰問ですが披露して楽しんでもらっています。

慰問活動(歌う・演奏・踊るなど)のお手伝いを出来る方は、毎月第2水曜日西部公民館5Fで「歌声広場」を午後1時半から3時までやっていますので、一度お越し下さい。又ホームページ「奈良のボランティアバンド」で検索すれば、活動内容が分かります。

・「四ツ葉フラクラブ」
(フラチーム)

・「歌声広場」を毎月1回60名程度で行い、その中から慰問活動の募集を行っています。

四ツ葉会 含め3グループのメンバーは11名です。

プログラム(例)
【歌】夏の思い出 美しい十代 大阪ラブソディ ともしび
【フラダンス】月の夜は
【歌】(レモンズ)
草原情歌 コンドルは飛んでいく
【フルーツ演奏】ふたりでお酒を
【フラダンス】海藻採りの歌
【歌】あこがれのハワイ航路
【フルーツ演奏】春の海
【歌】水に流して (エディット・ピアフ)
東京のバスガール
青い山脈
【アンコール】アロハウクレレ



高齢者施設慰問の様子。フラダンスを踊ってみなさんと楽しく交流



生演奏は心に染みるナツメロ… 曲に涙される方も…



柳生中学校区地域教育協議会

今回ご紹介させていただくのは、柳生中学校区地域教育協議会(総合コーディネーター:大西 義明さん)です。「環境整備活動」「伝統、文化の伝承活動」等についてお聞きました。

まりしてんさん

【 摩利支天山 】



摩利支天山は、市の所有物で山の上には神を祀っており、昔、柳生十兵衛三蔵が旅に出る時や軍人が戦地へ出陣する時には、壮行会がこの場所で開かれたりしていたそうです。以前は、この山の周辺の清掃活動を子ども達が行っていましたが、今は少子化で子ども達が減ったので、地域の人に呼びかけを行ない、保護者や地域の人を中心となって4年ほど前から環境整備の作業をするようになりました。

「柳生を見下ろす高台で、春は桜の花が咲く山にしたい。そして、地元のシンボルにしたい。」と桜の苗木を植えておられます。



柳生中学校の向かいにそびえる摩利支天山



【 ニッポンバラタナゴと里親活動 】

ニッポンバラタナゴの里親活動は、柳生中学校の環境学習の一環として近畿大学農学部管理学科水圏生態学研究室との連携で行なっているものです。



理科室の水槽に避難しているバラタナゴ

摩利支天山横の敷地にバラタナゴを育てる生物生息空間(ビオトープ)を作り絶滅危惧種のニッポンバラタナゴの保存運動をしています。ニッポンバラタナゴはドブガイ(二枚貝)の中に卵を産み、ドブガイの幼生は生まれてからしばらくはヨシノボリ(ハゼの仲間の魚)のひれに寄生して育ちます。そこで、まずヨシノボリとドブガイが育つ環境を保つことが必要で、水の流れがよどむ場所を好むバラタナゴとの三者の生態系をうまく復活させる必要があります。昨年まで、このビオトープの中で2,3百匹のニッポンバラタナゴが育っていましたが、今年の台風で増水し、大半が流されて20匹ほどになるという苦い経験をしました。今年の台風時、校舎2階の理科室の水槽に避難させることで、事なきを得ました。



今後も学生と子ども達と一緒にいかなう観察会等を通じて自然保護教育の実践を続けていきたいと思っています。

バラタナゴを育てているビオトープ

【 日本剣道形習得 】

柳生一族が住んでいた剣豪の里として、当然剣道が盛んで柳生中学校の武道場では、毎週火曜日と木曜日に子ども達が剣道を教わっています。現在は小学生12~13人と中学生数人が通っています。

柳生中学校の平尾教頭先生は地元出身の方で剣道の専門家であり、以前は若草中学校で生徒を全国大会に何度も連れて行かれた経験を持っておられます。近くには正木坂道場もあり、柳生家にまつわる史跡も多く残っています。柳生中学校では、毎週水曜日に木剣体操が行われており、さすが剣豪の里、柳生だなと感じました。



今回取材先の柳生中学校



柳生中学校の武道場

【 星空観察教室 】

星空観察教室が毎年、夏と冬に開催されてきましたが、昨年は冬場にだけ行われました。地元、南之庄に住む星空観察同好会に入っているご夫婦のご指導で、天体望遠鏡を持ち出して星空を観察します。

もともと柳生は、空気が澄んでいる場所ですが、夏より冬の方が星がきれいに見えるとのことでした。



【 和楽器体験学習 】

柳生中学校の音楽の授業では琴の演奏が行われており、通常より少し長さが短い琴が使われています。奈良には日本の古来の音楽である雅楽を保存する動きがあり、特に春日大社では毎年11月3日の文化の日に春日大社万葉植物園で文化の日万葉雅楽会が開催されています。

【 第100回を迎えた柳生地区大運動会 】

地元では毎年柳生地区全体が一つにまとまって大運動会等の行事を行っており、今年は100回目を迎えました。

9月27日(土)、さわやかな秋空の下、今年の大運動会が開催されました。昼休みに会場の多くの参加者が飛ばした風船は見事な光景だったそうです。フィナーレを飾った“柳生音頭”は、地域の方達と練習を重ねた甲斐があって、当日会場の多くの方と一緒に一つの事をやり遂げる一体感は何にも勝る価値ある時間となったとのことでした。



左から
谷校長先生、大西総合コーディネーター
平尾教頭

お知らせ！情報コーナー

ボランティア入門講座のご案内

日時:平成27年 1月24日(土)
2月28日(土)
3月28日(土)

時間は全て午前10:00～12:00

場所:ボランティア

インフォメーションセンター会議室

申込:講座名、開催日、氏名(ふりがな)
電話番号を明記の上、電話かFAX、Eメールでお申込み下さい。

締切:各開催日の1週間前まで

市民公益活動入門講座のご案内

「～伝える 伝わる 日本語コミュニケーション～
ことば力向上セミナー」

【第1回】平成27年1月30日(金)13:30～16:30

ーベーシックコミュニケーション編ー

・日本語の特徴を学び、思いが伝わる言語コミュニケーションをみんなで考えます。

【第2回】平成27年2月6日(金)13:30～16:30

ープレゼンテーション編ー

・プレゼンテーションにおける効果的な話し方の実践トレーニング
※1回目、2回目ともワークショップを中心にした内容です。

講師:フリーアナウンサー 福森ひとみ氏

※詳細については、ならしみんだより等でもお知らせします。

ご案内

共同作業コーナー 大型プリンター

印刷機(有料)や紙折り機、裁断機(無料)などがあります。チラシや会報の作成にお使いいただけます。



大型プリンター(有料)
ポスターの作成等にご利用ください。



※用途は市民公益活動に限りません。

ボランティア活動先一覧 を活用しましょう！



そんな方は、ぜひご覧ください！

情報コーナーのおすすめ本

「フューチャーセンターを作ろう」
著者 野村恭彦/プレジデント社



フューチャーセンターは、日本ではまだ新しい概念です。この本で書いてきたようなことを、企業や自治体、NPOの方にご説明することが私(著者)の仕事のひとつなのですが、興味深く私の話を聞いていただいた最後の最後に、「要するに、どういことですか?」とたずねられて拍子抜けしてしまうことも少なくありません。

奈良市ボランティア インフォメーションセンター

連絡先

〒630-8122

奈良市三条本町13番1号はぐみセンター1階

開館時間:9:00～21:00(月～土曜日)9:00～17:00(日曜・休日)

休館日:年末年始

TEL:0742-93-8435 FAX:0742-34-2336

MAIL:volunt-info@city.nara.lg.jp URL:<http://www.city.nara.lg.jp>



《注意》
平成26年3月25日にセンター東側高架下に新駐車場がオープン。今までの駐車場は閉鎖されました。

※駐車場の駐車台数には限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用下さい。(満車の場合は、周辺の有料駐車場をご利用いただくようお願いいたします。)

【編集後記】

インフォメーションセンター秋の最大イベント「HUG?祭り」開催に際して、多数の関係者の皆様にご支援ご協力を賜り御礼申し上げます。

市民と市民公益団体とのふれあい、また公益団体同士の交流とインフォメーションセンター本年一番の賑わいでしたが反省や課題も残り、今後のセンター運営に反映できればと思っています。



奈良市ボランティアインフォメーションセンター

検索

